

2019年
(令和元年)

2019年
(平成31年)

2018年
(平成30年)

2017年
(平成29年)

5月

新しい時代「令和」の幕開け

クラシック音楽をより身近に「ワンコインコンサート&アウトリーチ」初開催

3月

JR藤田駅が85年ぶりにリニューアル

11月

暮らしの中にある木の魅力・質の高さ・そして温もりを再発見「暮らしの中の木づかい展」を初開催

10月

暮らししたい町の姿をつくる「空想マルシェ」を初開催

9月

歴史公園整備に向けて「阿津賀志山防塁整備基本計画」を策定

6月

地域の居場所づくりに「くみささえ愛」活動がスタート

4月

「くみ農業ビジネス訓練所」が開所

2月

国産産の木材でつくったオリジナルの木のおもちゃを誕生祝品として贈呈

10月

特別栽培米「くみにみ米」が誕生

5月

交流連携の核となる「道の駅国見あつかしの郷」がグランドオープン

1月

旧大木戸小学校をリニューアルした国見町文化財センター「あつかし歴史館」がオープン

12月

純米大吟醸「国見あつかしさん極(きわみ)」が完成

11月

石の町くみにみでお宝再発見「石工(ロック)フェスティバル」を初開催

9月

「ふくしまくにみ物産展」くみにみのおすそわけ」東京歌舞伎座木挽町広場で開催



おいでよ国見さん

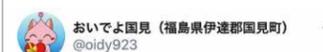
Twitter で国見町を発信「国見においでよ！」

東日本大震災の大きな被害や復興に向けて歩む人々の姿を見た私は、自分も何か地域のための活動をしたと考えようになりました。そんな中「おいでよ〇〇」という名前地域を応援している人々の存在を知り「おいでよ国見」を始めてみようと思いました。

「おいでよ国見」の活動の目的は「国見町を知ってもらうこと」です。活動と言っても堅苦しいものではなく Twitter で何気ない会話をしている

だけですが、そこから国見に興味を持った方が国見を通った時にちょっと立ち寄ってみようと思ったり、お店で国見産のものを見かけた際に手に取ってみようと思ったりするきっかけになれたらと思っています。また、外から見た国見の印象を町内みなさんにも知ってもらいたいという思いから、国見を訪れた感想や国見のものについての感想が投稿されていたら紹介するという事もしています。

この活動によって国見町のことを知る内外の人が増えていけば、それが国見町の元気に繋がっていくのではないかと、そういう思いを持ちながら「おいでよ国見」は今日もつづやっています。『国見においでよ!』



今日も寒かったね。この寒さがおさまって春になったら見に来て欲しいものを昨日に書いてもうひとつ。深山神社の大フジだよ。#おいでよ国見の風景



「おいでよ国見」のアカウントでTwitterから町のPR



国見のブランド米「くみにみ米」



JR藤田駅がリニューアル



ワンコインコンサート&アウトリーチ



くみにみささえ愛



くみにみ農業ビジネス訓練所が開所



誕生祝品「木のおもちゃ」



道の駅国見あつかしの郷 グランドオープン



地域から愛される学び舎へ「あつかし歴史館」オープン



空想マルシェ



石工(ロック)フェスティバル in 石蔵



子ども議会